



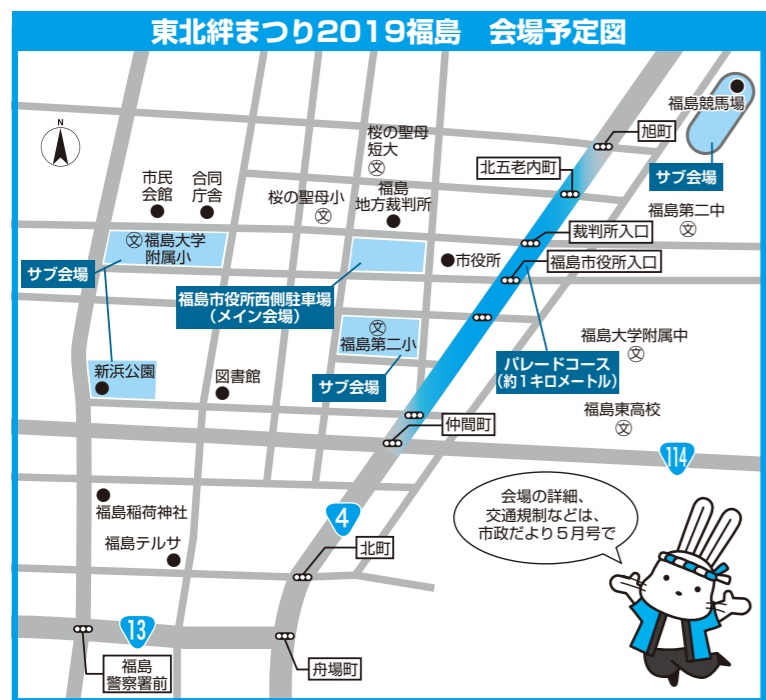
心をひとつに、いまを超える。
「祭りの力」が新たな東北のレガシーを創る！

TOHOKU KIZUNA FESTIVAL 2019 東北絆まつり 福島

復興と鎮魂をテーマに開催された「東北六魂祭」の福島開催から6年。その魂を引き継いだ「東北絆まつり」が6月に福島市で開催されます。

来年には、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、東北・福島にも世界の注目が集まります。復興の歩みを進める中で、東北6市が力を合わせ、福島、東北と日本、そして世界の心を結びます。

■問／観光コンベンション推進室 ☎572-5718



※平成31年2月末日時点

6月1日(土)・2日(日)開催

開催概要

- 会場(候補地)
 - 時間／1日(土)午前10時～午後5時(予定) ※一部、午後7時まで
 - 2日(日)午前10時～午後5時(予定)
 - 場所／メイン会場 福島市役所西側駐車場
サブ会場 JRA福島競馬場、福島大学附属小学校、福島第二小学校、新浜公園
 - 内容／東北6市6祭りブース、県内13市と浜通り地方の町村PRブース、スポーツ体験ブースなど
- 東北絆まつりパレード
 - 時間／1日(土)午後2時30分～5時
 - 2日(日)午後0時30分～3時
 - 場所／国道4号(福島市役所周辺約1.1km)
 - 有料観覧席／4月上旬に個人向け販売情報を発表(予定)
- 観光客・市民の皆さんが、安全・安心に観覧いただけるよう、大規模な交通規制を実施します。市民の皆さんには、ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。なお、交通規制など詳しくは市政だより5月号でお知らせします。



【秋田竿燈まつり】
真夏の病魔や邪気を払うねぶり流し行事として宝暦年間からの歴史を持つ。高さ約12m、重さ約50kgもの竿燈を操る妙技は圧巻。
開催日：毎年8月3～6日



【青森ねぶた祭】
七夕祭りの灯籠流しの変形ともいわれる青森ねぶた祭。大型ねぶたがお囃子とハネトとともに出陣します。
開催日：毎年8月2～7日



【盛岡さんさ踊り】
岩手の県名の由来でもある三ツ石神社の鬼退治伝説から始まったとされる。和太鼓同時演奏の世界記録を持つ太鼓の音が会場内に響き渡ります。
開催日：毎年8月1～4日



【山形花笠まつり】
艶やかな踊り手の「ヤッショ、マカショ!」の掛け声が響く。花笠太鼓の勇壮な音色とともに美しい群舞を繰り広げます。
開催日：毎年8月5～7日



多彩な東北が、
熱い絆でひとつになる。

盛岡 MORIOKA

山形 YAMAGATA

仙台 SENDAI

福島 FUKUSHIMA



【仙台七夕まつり】
伊達政宗公の時代より続く日本一の和紙の祭典。絢爛豪華な笹飾りが美しく彩ります。
※パレードは、仙台すずめ踊りが参加。
開催日：毎年8月6～8日



子どもたちの未来に残る祭りへ

福島わらじまつり
実行委員会企画検討委員会
委員長 小口 直孝さん

わらじまつりに携わるさまざまな関係者の皆さまからご支援をいただき、わらじまつりが生まれ変わります。今までとは違い、昔からある太鼓、笛、生歌を使いながら、衣装や演出も大胆にリニューアルします。福島で生まれた子どもたちが自信を持って自慢できる祭りを残したいという思いを込めて作り上げていきます。
ぜひ、東北絆まつりにお越しください!



福島わらじまつり 第50回の節目

【福島わらじまつり】
江戸時代から四百有余年にわたり受け継がれた伝統ある「暁まわり」(毎年2月開催)に由来する「福島わらじまつり」。日本一と称される長さ12mの大わらじが練り歩きます。
今年で開催50回目を迎え、リニューアルされる「新生福島わらじまつり」。東北絆まつりで初披露します。

開催日
毎年8月第1金・土曜日

開催概要、有料観覧席など詳しくは、東北絆まつり公式ホームページをご覧ください。

